

# NEW CALEDONIA ニューカレドニア

## 天国に一番近い島

南太平洋に浮かぶニューカレドニア。コーラルリーフに囲まれた世界最大のラグーンは世界遺産にも登録され、驚くほど多様な海洋生物が息づいています。代表的な5つのエリアとして、本島グランドテール島内の首都ヌメアエリア、西海岸エリア、東海岸エリア、グランストッドエリア、そしてウベア島やイルデパンなどの離島エリアに分けられます。またニューカレドニアはフランスの海外領土で、フランス語が公用語です。首都ヌメアでは洗練された街並みや美味しい料理、ワインも堪能できます。広大な土地と山々が織りなす壮大な風景、世界遺産の海、そしてフランスの風を感じるこの国で、優雅なひとときを堪能してみませんか。



ニューカレドニアの大自然



美味しいお料理とワインで乾杯!



イルデパンの天然プール

渡航経路例  
成田⇒ヌメア(ニューカレドニア)

### 満喫プラン / 初級モデルコース 天国に一番近い島でゆっくりラグジュアリーに過ごす

- 1日目
  - PM ● お昼に成田を出発、直行便でニューカレドニアへ!夜に到着ホテルにチェックイン。フライトの疲れをラグジュアリーなホテルでゆっくり癒す
  - 2日目
    - AM ● 早速フレンドリーな街並みを散策!ヌメアの街には美味しいパン屋さんがたくさん!パン屋さんめぐりをして、お気に入りの店を見つけよう海沿いの街の港やステンドグラスが美しい教会、憩いの噴水広場を訪れる
    - PM ● ラグーン水族館でニューカレドニアならではの海の生き物に出会い、チバウ文化センターでオセアニア文化に触れる夜にはヨットハーバーにあるレストランのテラス席でディナーを
    - 3日目
      - AM ● ラグーンが美しいリゾートアイランド、メトル島へ出発!ヌメアからボートでわずか約20分
      - PM ● マリンアクティビティを楽しむ
      - ゆっくりに海を楽しむ派におすすめ カヌー、浅瀬でシュノーケリング、パドルサーフィン等
      - アクティブ派におすすめ マリンジェット、バナナボート、スキューバダイビング等
      - ニューカレドニアで唯一の水上コテージで海に沈む夕陽を眺める
      - 4日目
        - AM ● きらめく海とラグーンを眺めながら朝食
        - 高確率で遭遇できると噂のウミガメをシュノーケルやバナナボートで探しに行こう!
        - PM ● ヌメアに戻る。シトロン湾でサンセット・カクテルはいかが?
        - 5日目
          - AM ● ヌメアのアンスパタエリアでショッピング!
          - PM ● お土産を買ったり、地元のスーパーをのぞいてみたり
          - ニューカレドニアのワインで旅の思い出を振り返り、夜に空港へ向かう
          - 6日目
            - AM ● 翌朝、成田空港に到着



首都ヌメア



ヨットハーバー



### Cafe

ヌメアでパン屋さん・カフェ巡り  
ヌメアにはたくさんのパン屋さんやカフェがあります。フランス×南の島の雰囲気が混ざりあったユニークな街の中を散歩したらヨットハーバーのベンチに腰掛けて、おいしいクロワッサンとカフェオレで優雅な時間を過ごしましょう。



### Beer

ニューカレドニアの地ビールを味わおう!

旅といえばその土地のお酒!というあなたに、ニューカレドニアの地ビールはいかが?ヌメア近郊にはクラフトビール醸造所がいくつもあり、ヌメアのシトロン湾には店内にビール醸造所を併設するブルワリーレストランも。南国の陽光を浴びて1日満喫した後の喉の渇きを冷えたビールで潤せば、完ぺきな1日の締めくくり。



### Activity

シュノーケリング&ダイビング

ニューカレドニアのシュノーケリング&ダイビングスポットは、初心者の方へベテランまで楽しめる様々なスポットがあります。透明度が高く穏やかな海では、ダイビングの装備がなくてもトロピカルな珊瑚に集まる南国の魚たちに出会うことができます。ダイバーのあなたは、難破船やポアンディエの「ヤギの森」、北部プムの海底斜面を探検してみたいはいかが?

### 中級モデルコース これぞ“本当の天国”!? ニューカレドニアの赤・青・緑を体感

- 1日目
  - PM ● 夜にヌメアに到着。ヌメアのホテルにチェックイン 明日からの冒険に向けてゆっくり休む
  - 2日目~3日目
    - All day ● ニューカレドニアの“赤”へ。グランストッドエリア  
ニューカレドニア最大の公園、リビエブルー州立公園やマドレーヌの滝でハイキングやサイクリングを楽しむ
    - OR  
ニューカレドニアの“緑”へ。西海岸エリア  
ジャイロコプターか軽飛行機に乗り、ニューカレドニアのハート「ヴォーのハート」を空から見よう。7,800ヘクタールの広大な平野、プーライユのデヴァ地区で乗馬を楽しむ
    - 4日目~6日目
      - AM ● ニューカレドニアの“青”へ。離島エリア。好きな離島でのんびり過ごしたり、シュノーケリングを楽しんだり
      - 美しい砂洲が特徴の「天国にいちばん近い島」の舞台:ウベア島
      - 南洋杉が立ち並ぶ、南太平洋の宝宝箱:イルデパン
      - 7日目
        - AM ● ヌメアに戻り、港町を散策しながらショッピング
        - PM ● ニューカレドニアの地ビールで旅の思い出を振り返り、夜に空港へ向かう
        - 8日目
          - AM ● 翌朝、成田空港に到着



グランストッドエリア



西海岸エリア



ウベア島



イルデパン

Q 太平洋諸島国の中でフランスの海外県 / 海外領土といえば、ニューカレドニアと仏領ポリネシアですが、かつてフランスとイギリスの共同統治下にあった国はどこでしょうか?

A 答えは p.42 に!

### コラム 1 日本とニューカレドニアのつながり

明治以降、ニッケル鉱山の労働者として多くの日本人がニューカレドニアに移住しています。日本人移民はグランドテール島の東海岸エリアのティオに住んでいました。ティオはニューカレドニアの主産業であるニッケル産業のはじまりの地です。ニッケル鉱山博物館には当時の写真が展示され、ティオの町の近くには日本人墓地があり、遠く離れた日本からやってきた人々が眠っています。現在もニューカレドニアの人口27万人のうち、日系人は約1万人。現地の学校では選択科目として日本語教育があるなど、日本とニューカレドニアには深いゆかりがあります。

### コラム 2 せっかくだから、フランス語でコミュニケーション!

こんにちは ▶ Bonjour ボンジュール さようなら ▶ Au revoir オルヴァワール  
ありがとう ▶ Merci メルシー お願いします ▶ S'il vous plaît シルヴァプレ



### オンラインコンテンツを楽しもう

ニューカレドニア観光局のサイトでは、必見の見どころや穴場など、沢山の情報にアクセスできます!



### ニューカレドニアを写真でチェック

美しい風景の写真やダイビングの動画、ローカル感満載の写真はInstagramやFacebookから!

